

ニワトリ抗体で医薬品

ファーマフーズ 創薬事業を強化

と研盤基薬医

バイオベンチャーのファーマフーズはニワトリ由来の抗体を使った医薬品を開発する。独立行政

法人医薬基盤研究所(大阪府茨木市)と共同でがん治療に効く抗体医薬品をつくる。2〜3年後には製薬会社にライセンスを与え実用化を目指す。免疫機能を応用した抗体医薬品は副作用が少ないとされる。5年後に年5

億円の売上高を目指し、創薬事業を健康食品素材に次ぐ収益の柱に育てる。同社はニワトリの免疫システムに着目し、体内にヒトのタンパク質を入れて抗体を作る。ニワトリはマウスなどに比べて多くの抗体を作りやすい。抗体の遺伝子を組み換えてヒトに投与できるようにする。同研究所は

がん細胞など特定の標的を見つけ出す研究に強い。共同研究を通じて開発したがん細胞に効く治療用抗体を、医薬品に応用する。

抗体医薬品は病気の原因となる細胞のみに働き正常細胞を傷つけないため、副作用が少ないとされる。臨床試験の前段階から製薬会社に実用化に向けた開発権利を与え、

早くから収入を得られるようにする。

同社は2007年に広島大学の教授と共同で鶏卵抗体を研究する関連会社を設立。今年9月末に実用化が見込めるようになったことから同社を吸収し、本体に創薬事業の部署を立ち上げた。

早くから収入を得られるようにする。

同社は2007年に広島大学の教授と共同で鶏卵抗体を研究する関連会社を設立。今年9月末に実用化が見込めるようになったことから同社を吸収し、本体に創薬事業の部署を立ち上げた。